



トタニについて

About Totani

「モノづくり」に徹する業界のリーディングカンパニー

トタニ技研工業は、製袋機＝袋を造る機械を造る企業です。1961年に法人化以来、半世紀にわたってプラスチックフィルムの袋を造る製袋機メーカーとして、業界をリードする製品を提供し続けてきました。トタニ技研工業の製袋機は、国内だけにとどまらず、すでに世界57ヶ国以上で活躍し、世界的な大手企業に選ばれるなどの高い評価を得ています。これからもトタニ技研工業は「モノづくり」に徹する業界のリーディングカンパニーとして、富を創造し、社会に必要とされる企業として歩みを進めていきます。

トタニについてインデックス	
→ 会社概要	・・・資本金や取引先などのご案内。
→ 経営理念について	・・・トップが語る経営理念。
→ グローバル・ロケーション	・・・海外の拠点と代理店のご案内。
→ 会社沿革	・・・これまでのトタニ技研工業の歩みをご案内。
→ 組織図・社員数推移	・・・社員数の推移と組織構成のご案内。
→ 売上実績推移・特許	・・・売上高の推移と特許について。
→ アクセスマップ	・・・本社と工場のご案内地図。

会社概要	
社名	トタニ技研工業株式会社
本社所在地	〒601-8213 京都市南区久世中久世町5-81
TEL	(075)933-7610
FAX	(075)933-7602
代表取締役社長	戸谷 幹夫
営業種目	自動製袋機設計製造及び販売、自動製袋包装機設計製造及び販売
創業	1952年
設立	1961年（法人）
資本金	1億円
売上高	113億円 : 2018年1月期
従業員	212名（日本国内）160名（海外） : 2018年1月期
本社工場敷地	約6,816m ²
本社工場建物	約3,990m ²
海外輸出先	ドイツ、フランス、スイス、オーストリア、ロシア、トルコ、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、インド、オーストラリアなど57カ国
工場	本社工場 : 〒601-8213 京都市南区久世中久世町5-81 西第1工場 : 〒601-8213 京都市南区久世中久世町5-15 西第2工場 : 〒601-8213 京都市南区久世中久世町5-15 南第1工場 : 〒601-8205 京都市南区久世殿城町106 東工場 : 〒601-8213 京都市南区久世中久世町4-44 （登記上の本店：旧本社）
営業所	【東京営業所】 住所：〒170-6045 東京都豊島区東池袋3-1-1 TEL:03-5979-2585

| 経営理念について

社会に貢献できる企業、富を創造できる企業であり続けたい

身近なレトルト食品やペットフード、洗剤やシャンプーなどの詰め替え用パッケージから、点滴や滅菌処理済袋といった医療用のパッケージまで、あらゆる分野で欠かすことのできないプラスチックフィルム袋。このプラスチックフィルム袋を造る製袋機メーカーとして、トタニ技研工業株式会社は世の中のお役に立つ、お客様に喜ばれる製品を半世紀にわたって提供してまいりました。

私たちトタニ技研工業株式会社は、

- 人と環境保護に役立つ「モノづくり」
- 「モノづくり」は「富の創造」
- 「ものまね」をしない独自開発技術で、常に最高性能を目指す
- フェアな企業活動
- ブランドを守り、信用を守る
- 企業は「人」、人を大事にすることが最重要課題

という理念を企業活動の基本においております。

まず「モノづくり」。それも、生活の質の向上や環境・省エネに貢献できることを念頭においたモノづくりに徹し、世界中の皆様にお買い上げいただける「最高性能の製品を創造する」それが私たちのモノづくりの原点です。そのためには他社にはない「独自技術」の開発にリスクを侵してでもチャレンジしています。「世の中になければ自ら造る」「物まねはしない」「自社開発技術にこだわる」。この姿勢こそが私たちのモノづくりの原点となっています。

いま、パッケージング技術の分野でもいかに少ない資源で、少ないエネルギーで、リサイクルやリユース性の高い製品を生み出すかが大きな課題であり、社会的責任の高い課題になっています。環境保護や二酸化炭素排出量削減に有効なプラスチックフィルム袋に社会の注目が集まるなかで、省資源、省エネルギー、環境への負荷低減に有効な「角底袋（ボックスパウチ）」を独自開発し、その普及にも注力しています。

こうしたモノづくりを支えるのは人材です。私は「技術は人の中に残っている」と思っています。新技術を創造し残したいと考えています。そのためにも人を大事にすることを経営戦略上の最重要課題に据え、社員にとってやりがいがある職場、誇りを持って楽しく仕事ができる企業を目指しているのです。

もうひとつ忘れてはならないのが企業としての信頼。社内・外に対してフェアに仕事をする、お客様はもちろん、協力企業様にも嘘をつかないことも私たちの大きな理念です。トタニ技研工業株式会社は目先の利益よりも「信用」に投資してきました。メーカー保障の3年を過ぎても、何か製品に不具合が起これば責任の所在を問わず、無償で修理・改良してきました。これはまたブランドを守るということにもつながります。いたずらに短期的な業績を追求しても、品質低下や開発力不足、サービスの低下に陥れば信用を落とし、ブランドの競争力を失ってしまいます。私たちはお客様や協力企業様あつての企業です、常にフェアに正直にお客様や協力企業様と接することを忘れません。

京都から「日本のモノづくり」の技術を世界に発信し、パッケージ分野の課題を解決していくことで、富を創造し、社会に必要とされる企業であり続けたい。

トタニ技研工業株式会社は次の半世紀に向かって歩みを進めていきます。

トタニ技研工業株式会社
代表取締役
戸谷 幹夫

グローバル・ロケーション

京都のトタニから世界のTOTANIへ

国内だけにとどまらず、すでに世界30ヶ国以上で活躍するトタニ技研工業株式会社の製袋機。その活動を支える海外拠点と代理店をご紹介します。

トタニ技研工業株式会社

日本



京都の本社（Head office）です。研究開発をはじめ、製造や技術サービス、販売などを統括するまさにHead office！

〒601-8213 京都市南区久世中久世町5-81

TEL (075)933-7610

FAX (075)933-7602



2007gad@totani.co.jp

Totani America, Inc.

北米



1701 Mid Valley Dr.

De Pere, WI 54115

TEL +1-920-632-7319

FAX +1-920-632-7361

info@totaniamerica.com

Totani America, Inc. は北米と南米という広範囲なエリアをカバーする拠点。

精鋭の販売とR&Dチームが万全のサポートを提供しています。

大連戸谷技研工業有限公司 (Dalian Totani Corporation)

中国



中国の大連にある拠点。各種製袋機の海外向け生産拠点でもあります。

(中) 大连经济技术开发区生命二路2号

(英) No. 2 ShengMing 2nd Road, Economical & Technical Development Zone, Dalian, 116600, China

(日) 大連経済技術開発区生命二路2号

TEL 0411-87922338

TEL 0411-87922318

FAX

0411-87922198

大連トタニ上海事務所 (Dalian Totani Shanghai office)

中国



大連戸谷の上海にある販売拠点です。

(中) 大连户谷上海办事处

上海市闵行区沪闵路6088号凯德龙之梦2812室

(英) Room 2812 Minhang Plaza No.6088 Humin Road Minhang District Shanghai 201199 China

TEL +86 21-3358-6998

FAX +86 21-3358-8277

グローバル・ロケーション

Totani Europe GmbH

ヨーロッパ



2009年3月に設立。ロシアからEU圏、中東まで広範囲なエリアをカバーする拠点として、トタニ製袋機の拡販や技術サービスの向上を目指します。

Immermannstr. 13
40210 Düsseldorf, Germany

TEL +49-211-9350-610 FAX +49-211-9350-150

Mexico Representative Office (メキシコ駐在員事務所)

南米

中南米及びスペイン語圏の販売拠点です。

Carr. Mexico-Toluca 1725 Local G-07
Col. Lomas de Palo Alto, Conjunto Galerias Reforma
Cuajimalpa, Mexico D.F., Mexico 05110.

TEL 52-55-52570094 web@totaniamerica.com

Totani Asia Pacific Pte Ltd.

東南アジア



東南アジア地域の販売拠点です。

10 Anson Road #15-13 International Plaza Singapore 079903

TEL +65-6220-2982 FAX +65-6220-2982 2007gad@totani.co.jp

会社沿革	
1952年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 京都市下京区に戸谷鉄工所設立 ■ 海産物加工機械の製作販売
1956年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 製袋機の製造を開始する
1958年	<ul style="list-style-type: none"> ■ EW-1型インパルスシール式三方シール製袋機開発
1961年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人化、社名を戸谷技研工業株式会社とする
1963年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 旧本社（現：東工場）へ工場を移転 ■ RS-200型熱輻射熔着自動製筒機開発(材料：延伸ポリプロピレン専用)
1965年	<ul style="list-style-type: none"> ■ RM-20型多列自動製筒機開発
1966年	<ul style="list-style-type: none"> ■ EW-510型インパルスシール式三方シール自動製袋機開発 ■ HK-1型サイドウェルド自動製袋機開発
1967年	<ul style="list-style-type: none"> ■ H-510型三方プレスヒートシール自動製袋機開発 ■ HK-2型サイドウェルド自動製袋機開発 ■ RM-850型ポリエチレン多列自動製筒機開発
1968年	<ul style="list-style-type: none"> ■ H-510-3MC型三方プレスヒートシール自動製袋機開発
1970年	<ul style="list-style-type: none"> ■ HK-5型サイドウェルド自動製袋機開発
1971年	<ul style="list-style-type: none"> ■ RM-850S型サイドウェルド自動製袋機開発
1973年	<ul style="list-style-type: none"> ■ H-510-6MC型三方プレスヒートシール自動製袋機開発 ■ HK-850型サイドウェルド自動製袋機開発
1974年	<ul style="list-style-type: none"> ■ HK-850型Vパック専用自動製袋機開発
1975年	<ul style="list-style-type: none"> ■ FA-350型高速センターシール製袋機開発 ■ FB-350型高速センタープレスシール製袋機開発 ■ LB-850型全自動ゴミ袋製袋包装機開発
1976年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社名をトタニ技研工業株式会社とする ■ LC-650型全自動ゴミ袋製袋包装機開発(業界初マイコン搭載機、無人運転可能) ■ HK-5W型自動ウィケットピン差し付サイドウェルド自動製袋機開発 ■ 週休2日制導入（当時日本の大企業でも少なく、先進性の企業と注目される。）
1977年	<ul style="list-style-type: none"> ■ BH-600型高速三方プレスシール自動製袋機開発
1978年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全自動ゴミ袋製袋包装機が、機械振興協会の第9回「自動化機械開発賞」受賞 ■ 付加価値配分制度導入し、業績によりボーナスを計算する制度を始める。
1980年	<ul style="list-style-type: none"> ■ BH-600B型高速三方プレスシール自動製袋機開発
1981年	<ul style="list-style-type: none"> ■ BH-600BS型高速三方シール、スタンドパック兼用自動製袋機開発

会社沿革	
1982年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資本金1,000万円増資、2,000万円とする ■ BH-600S型高速スタンドパック専用自動製袋機開発 ■ HK-57F型ファイル袋自動製袋機開発
1983年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資本金1,000万円増資、3,000万円とする ■ KP-35型全自動ポリ規格袋製袋包装機開発
1984年	<ul style="list-style-type: none"> ■ GS-58型バッグインボックス用自動製袋機開発 ■ 米国展示会出展（初の海外展示会へ出展。その後毎年米欧の展示会に出展）
1985年	<ul style="list-style-type: none"> ■ HK-65型高速サイドウェルド自動製袋機開発 ■ CAD導入
1986年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西工場建設 ■ LAN導入
1987年	<ul style="list-style-type: none"> ■ BH-120型高速大型三方シール自動製袋機（2サーボ）開発（業界初の2軸独立送りサーボドライブシステム採用） ■ HK-40型高速サイドウェルド自動製袋機開発 ■ FMS(Flexible Manufacturing System)稼働 ■ MRP(Manufacturing Resource Planning)稼働
1988年	<ul style="list-style-type: none"> ■ BH-60H型高速三方シール自動製袋機(2サーボ)開発(サーボドライブシステム採用)
1989年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資本金7,000万円増資、1億円とする ■ 南第一工場建設
1990年	<ul style="list-style-type: none"> ■ ボイスメール導入
1991年	<ul style="list-style-type: none"> ■ BH-60HV型高速三方シール自動製袋機(3サーボ)開発（ヒータ上下機構にもサーボドライブシステム採用） ・ VK-65型変形サイドウェルド自動製袋機(3サーボ)開発（ヒータ上下機構にもサーボドライブシステム採用）
1992年	<ul style="list-style-type: none"> ■ FD-35V型高速センタープレスシール自動製袋機(3サーボ)開発 ■ BH-60HVF型滅菌医薬袋用フィルム洗浄装置付スタンドパック専用製袋機(3サーボ)開発
1993年	<ul style="list-style-type: none"> ■ FA-35V型高速センターシール自動製袋機(2サーボ)開発 ■ CT-60HVL型高速三方シール自動製袋機(3サーボ)開発
1994年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 京都産業技術振興財団「京都中小企業優秀技術賞」受賞 ■ 京都産業技術振興財団「京都中小企業優秀技術者賞」受賞 ■ HK-65V型高速サイドウェルド自動製袋機(3サーボ)開発
1995年	<ul style="list-style-type: none"> ■ HK-40V型高速サイドウェルド自動製袋機(3サーボ)開発 ■ BH-60HV型高速三方シール自動製袋機の4サーボ機開発 ■ フレックスタイム制度導入 ■ 服装の自由化（毎日がカジュアルデーに）

会社沿革	
1996年	<ul style="list-style-type: none"> ■ HK-65VF型ファイル袋自動製袋機(3サーボ)開発 ■ FD-60V型高速大型センタープレスシール自動製袋機(3サーボ)開発 ■ BH-60HV型高速三方シール自動製袋機用シャー(カッター)制御 2度切り装置開発 (コーナーカット画像処理付き)
1997年	<ul style="list-style-type: none"> ■ HK-90V型高速大型サイドウェルド自動製袋機(3サーボ)開発 ■ ST-24型スパウトインサータ開発 ■ CT-80HVLLSC型(スタンドパック・チャックシール付) 1列取り専用高速三方シール自動製袋機(4サーボ)開発 ■ BH-60HV型高速三方シール自動製袋機用プロフィールパウチの押切り装置開発 ■ 社内にインターネットサーバを設置しホームページを開設
1998年	<ul style="list-style-type: none"> ■ BH-60HV型高速三方シール自動製袋機用シャー(カッター)制御の上下独立サーボ駆動開発 (コーナーカット画像処理付き) ■ タバコ袋専用(紙シート挿入装置付)製袋機開発 ■ 西工場改築
1999年	<ul style="list-style-type: none"> ■ ST-24型スパウトインサータと充填機を組み合わせたインライン化システムを開発 ■ 北米代理店のAMPLAS社に技術指導員として社員を派遣 ■ 基幹光ファイバーによる高速LANの導入 ■ 資本金を1億2000万円とする ■ VK-90型高速変形サイドウェルド自動製袋機(5サーボ)開発
2000年	<ul style="list-style-type: none"> ■ FD-35V型(特)角底袋専用高速センタープレスシール自動製袋機(4サーボ)開発 ■ PD-35型ワーク折込挿入装置付自動製袋機(2サーボ)開発 ■ シール位置検出・カット位置制御装置開発 ■ FD-60V特殊型電子レンジ袋専用製袋機開発 ■ BH-80HV型高速三方シール自動製袋機用変型押切自動製袋機開発
2001年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 創立40周年を迎える ■ FA-35V特殊型医薬用滅菌紙テープ挿入製袋機開発 ■ BH-120V型チャック装置付大型三方シール自動製袋機開発
2002年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前期売上が過去最高を記録する ■ 社長が交代し、新社長戸谷幹夫が就任する ■ 生分解性フィルム製袋仕様サイドウェルド自動製袋機開発 ■ BH80HVGジッパー付サイドガセット製袋機開発 ■ BH-60HV型全周トムソン押切製袋機開発 ■ 語学研修制度 (米国・ボストン)
2003年	<ul style="list-style-type: none"> ■ CT-60HVLLSC型(スタンドパック・チャックシール付) 1列取り専用高速三方シール自動製袋機開発 ■ 西第2工場増築
2004年	<ul style="list-style-type: none"> ■ TOTANI AMERICA INC.設立 (米国WI州/100%子会社) ■ 新本社工場竣工 ■ BH-60HVLLLS-M型三方スタンドパック用倍速仕様自動製袋機開発

会社沿革
2005年

- 新本社工場に移転
- VK-65型ブロックシール装置付きピン刺しコンベアー仕様自動製袋機開発
- 大連戸谷技研工業有限公司設立（中国大連/100%子会社）
- BH80HVG-F角底ジッパー付製袋機開発

2006年

- 大連戸谷技研工業有限公司、工場を移転拡大

2007年

- 新型三方機BHシリーズ「Dモデル」を開発
- 東京営業所を開設

2008年

- BH60DG-F角底ジッパー付製袋機開発(毎分100ショット)
- BH60DSスタンドパック機 毎分300ショット高速機開発

2009年

- BH80HVG-F上下印刷合わせ装置開発
- 高さ800mmの大型SG、角底製袋可能
- Totani Europe GmbHを設立

2011年

- Totani Asia Pacific Pte Ltd. を開設

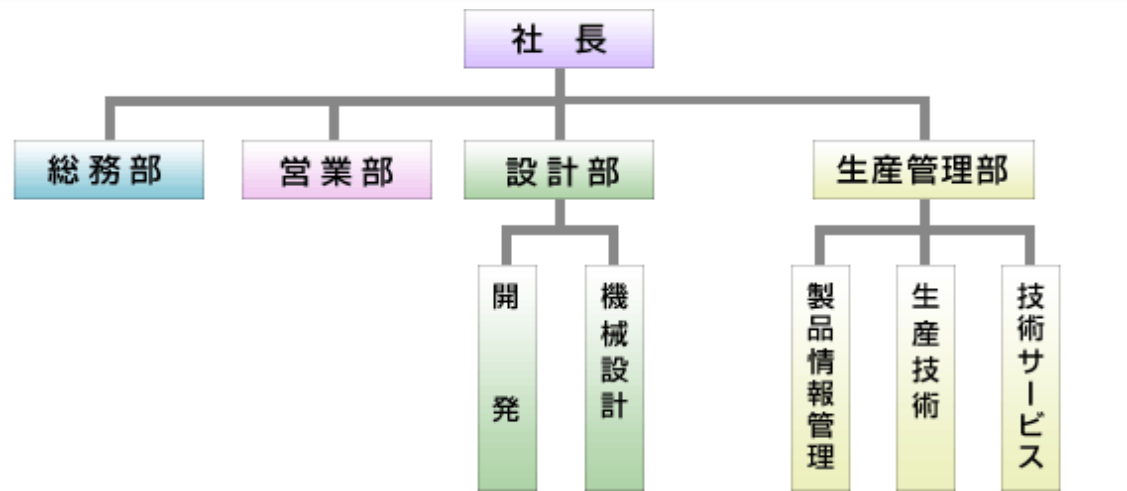
2012年

- HK65V 高速機460ショット毎分

2014年

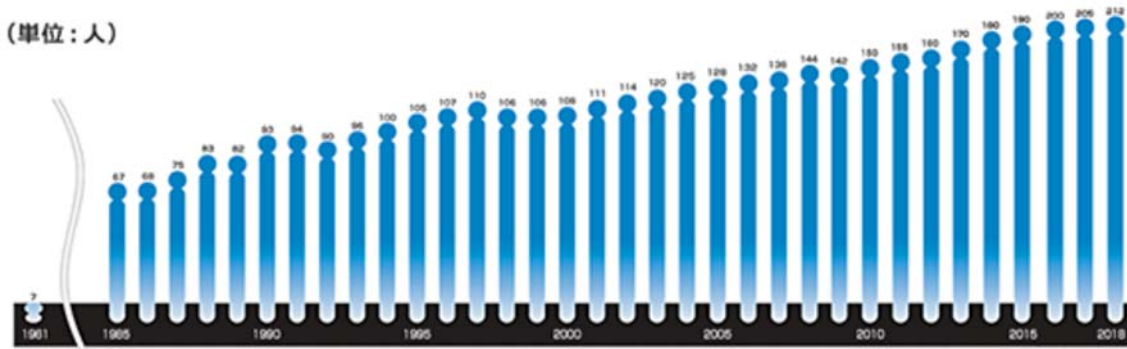
- HK65V 高速機500ショット毎分
- ST30 サーボ駆動スパウトインサータ
- 公益財団法人京都産業21「京都中小企業優秀技術賞」受賞
- 公益財団法人京都産業21「京都中小企業優秀技術者賞」受賞
- 中国・上海に大連戸谷上海办事处設立

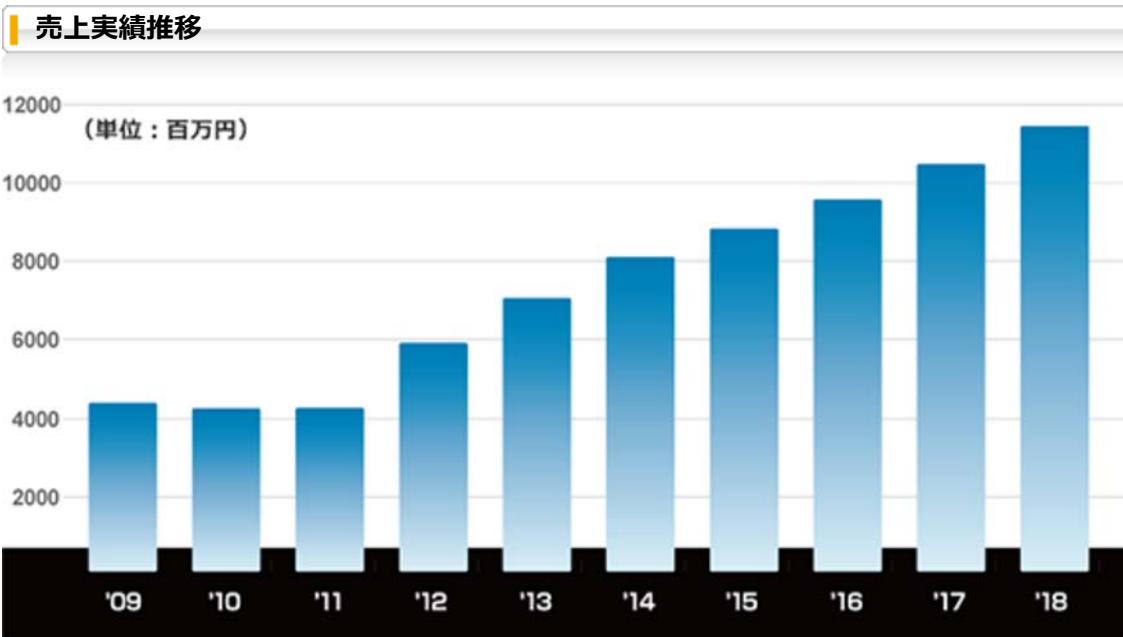
組織図



社員数推移

(単位：人)





2009年1月期	4,313,000	2014年1月期	8,032,000
2010年1月期	4,175,000	2015年1月期	8,756,000
2011年1月期	4,188,600	2016年1月期	9,526,000
2012年1月期	5,842,000	2017年1月期	10,372,000
2013年1月期	6,987,400	2018年1月期	11,380,000

(単位：千円)

特許

出願中特許	日本：13件 海外：109件 (アメリカ：18、カナダ：4、オーストラリア：4、ロシア：4、タイ：2、インド：26、中国：6、インドネシア：1、ブラジル：17、韓国：1、欧州：22、PCT展開前：4)
登録済特許	日本：77件 海外：168件 (アメリカ：31、カナダ：30、オーストラリア：28、ロシア：23、中国：31、香港：8、欧州：17)

2018年1月現在

アクセスマップ**西第2工場**

〒601-8213
京都市南区久世中久世町5-15

**南第1工場**

〒601-8205
京都市南区久世殿城町106

**東工場**（登記上の本店：旧本社）

〒601-8213
京都市南区久世中久世町4-44

TEL (075)933-7610

FAX (075)933-7602